

平成 30 年 6 月 6 日

リハビリテーション科に通院中の患者さんへ(臨床研究に関する情報)

当院では、以下の臨床研究を実施しております。この研究は、通常の診療で得られた過去の記録をまとめることによって行います。このような研究は、厚生労働省・文部科学省の「人を対象とする医学系研究に関する倫理指針」の規定により、対象となる患者さんのお一人ずつから直接同意を得るのではなく、研究内容の情報を公開することが必要とされております。この研究に関するお問い合わせなどがありましたら、以下の「問い合わせ先」へご照会ください。

研究課題名 当院における認知症症状を有する高齢患者に対するリハビリテーション介入実態の検討

研究機関 市立札幌病院 リハビリテーション科

研究責任者 リハビリテーション科／石井陽史

研究の目的

認知症症状を有する高齢患者に対するリハビリテーションの介入実態を調査し、その効果について検討するため

研究の方法

1 対象となる患者さん

2017年4月から2018年3月の期間に認知症ケアチームが介入し、かつリハビリテーションの実施割合が最多の診療科であった当院消化器内科に入院した患者70例のうち、状態悪化によるリハビリテーション中止と死亡退院6例を除いた64例(性別:男性34名,女性30名,平均年齢85.0±7.1歳)

2 利用するカルテ情報

診断名、年齢、性別、入院理由、リハビリ開始までの日数、在院日数、転帰、ADL能力

個人情報の取り扱い

この研究について、研究計画や関係する資料、ご自身に関する情報をお知りになりたい場合は、他の患者さんの個人情報や研究全体に支障となる事項以外はお知らせすることができます。

利用する情報からは、お名前、住所など、患者さんを直接同定できる個人情報は削除します。また、研究成果は学会や学術雑誌で発表されますが、その際も患者さんを特定できる個人情報は利用しません。

※上記の研究に診療情報を利用することをご了解いただけない場合は、ご連絡ください。

【お問い合わせ先】

北海道札幌市中央区北11条西13丁目
市立札幌病院リハビリテーション科